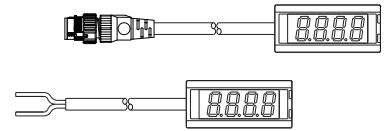


# ASLINKMONITOR [ASLINKモニタ]



## B287-74DP01-□20



Smartclick は、オムロン株式会社の登録商標です。

■使用上のご注意 ⇒ アドレス等の設定には「アドレスライター」が必要です。※詳しくは6ページの【各種設定】をご確認ください。

### 【型式】

B287-74DP01-220	M12コネクタ付 (IP67)
B287-74DP01-C20	バラ線

### 【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



- システム安全性の考慮  
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。  
○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。  
○出力ユニット、出力回路を含む混合ユニットにおいて、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる通過電流が長時間継続して流れた場合、発煙、発火の恐れがありますので、外部にヒューズなどの安全装置を設けてください。



- システム電源  
DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。  
○高圧線、動力線との分離  
AnyWireASLINKは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。  
○コネクタ接続、端子接続  
・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かたり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。  
・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。  
・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。  
○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。  
○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとリモートユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。  
○AnyWireASLINKは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

### 【保証について】

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

### 【ピクトグラム※1について】

	Ver.1.0※2		Ver.1.1※3 対応品
---	-----------	---	---------------

- ※1 製品によってはピクトグラムの印字（または貼付）が無いものもございます。  
※2 Ver.1.1（ワード伝送、1台簡単交換機能）に非対応のAnyWireASLINK機器 Ver.1.1のピクトグラムの印字が無くてもVer.1.1の機能に対応している製品も一部ありますので正確な確認はLot.No.と製品説明書にてご確認ください。  
※3 Ver.1.1についての詳細は次ページ以降をご確認ください。

## 【AnyWireASLINK Ver.1.1について】

2019年5月よりAnyWireASLINK機器に新しい機能を追加しています。併せて、対応機能判別のために、製品のロットナンバー (Lot.No.) 表記を変更しております。

Lot.No.によって対応機能が変わりますので、十分ご理解のうえご使用くださいますようお願いいたします。

Ver.1.1で追加される機能は次の通りです。

Ver.1.1対応機能	ワード伝送※1 ※2
	1台簡単交換※1

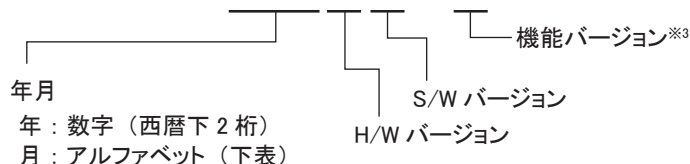
- ※1 この機能を使用するには、各機能に対応したマスタユニットが必要です。  
詳細は本マニュアルとマスタユニットのマニュアルを併せてご確認ください。
- ※2 ワード伝送の AnyWireASLINK に接続して使用することが可能です。  
ワードデータを扱うにはリモートユニットにワードアドレスを設定する必要があります。  
ワードアドレスの設定可否はリモートユニットによって異なりますのでご注意ください。

## 【Lot.No.について】

機能追加に伴いLot.No.を、従来の3桁(年月のみ)表記から、6桁または7桁表記に変更しました。

例：

Lot.No. 19ECBNB



アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

“19E”は、2019年5月を表します。

※3 製品によっては、機能バージョンの記載が無い場合もあります。

## 【ワード伝送について】

ワード伝送機能に対応したマスタユニットは、アナログデータやセンシングレベルデータといったワードデータ(数値情報)を送受信するエリアを持っています。

これにより、ワードデータによるビット情報エリアの圧迫が軽減されます。

ワード伝送を行う場合は、ワード伝送機能に対応したリモートユニットのみでシステムを構成する必要があります。

ワード伝送のAnyWireASLINKシステムに、ワード伝送機能非対応のリモートユニットを接続して使用することはできません。

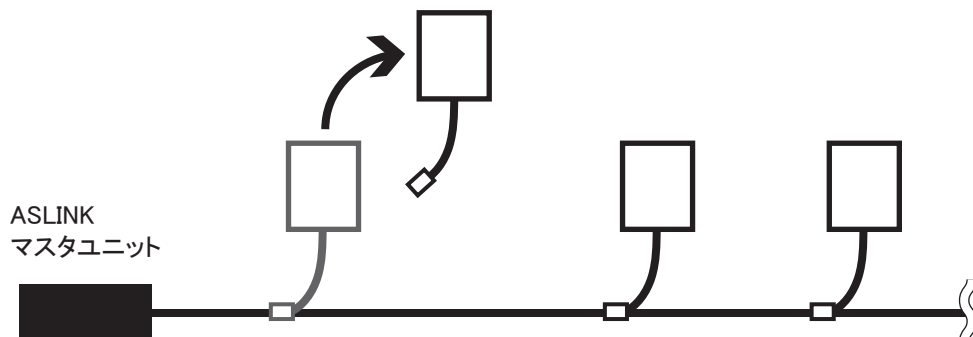
ワードデータを扱うリモートユニットには、ワードアドレスの設定をする必要があります。

## 【1台簡単交換について】

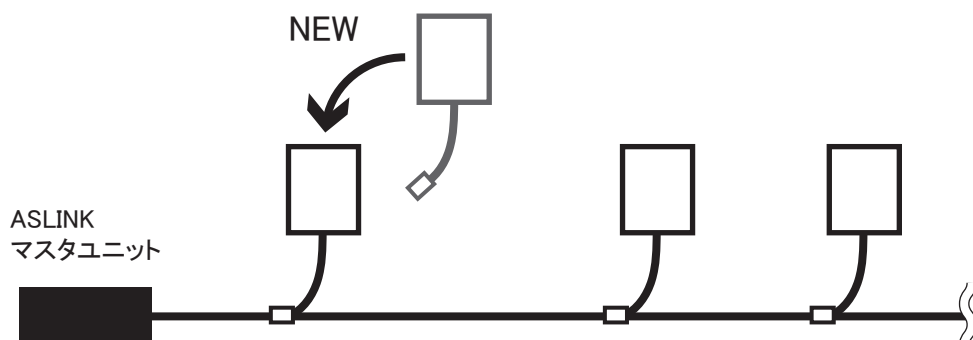
リモートユニットの交換時、交換後の新しいリモートユニットへ、交換前のリモートユニットに設定されていたアドレスとパラメータを自動で設定する機能です。(交換後にアドレスライターによるアドレスやパラメータの設定が不要になります)

■手順1 マスタユニットに供給しているDC24V電源をOFFします。

■手順2 交換するリモートユニットを1台取り外します。



■手順3 新しいリモートユニットを接続します。



■手順4 マスタユニットに供給するDC24V電源をONします。



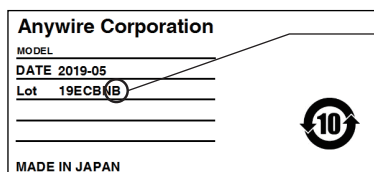
### 注意

- ・マスタユニットとリモートユニットともに、1台簡単交換機能に対応している必要があります。
- ・リモートユニットの脱着は、必ず電源をOFFに行ってください。
- ・リモートユニットの1台簡単交換機能への対応可否については各リモートユニットのLot.No.、マニュアルをご確認ください。
- ・機能バージョンが新しいものから古いものへ交換した場合は、1台簡単交換機能は使えません。
- ・交換前と交換後で、リモートユニットの型式が同じ場合に動作します。
- ・交換前と交換後で、リモートユニットの型式が異なる場合は型式不一致異常が発生します。アドレスやパラメータの設定は行われません。
- ・交換用のリモートユニットが工場出荷時アドレス(ビットアドレス511)の場合に動作します。
- ・複数のリモートユニットを同時に交換することはできません。複数台交換する場合は、1台ずつ交換を行ってください。
- ・1台簡単交換非対応のリモートユニットは、従来通りアドレスライターを使って設定してください。
- ・1台簡単交換機能についての制限や条件などについての詳細は、マスタユニットのマニュアルをご確認ください。

#### ■機能バージョンの確認

機能バージョンはロットシールに記載しています。

※ロットシールのデザインや内容は、型式や Lot.No. によって異なる場合があります。



機能バージョン :

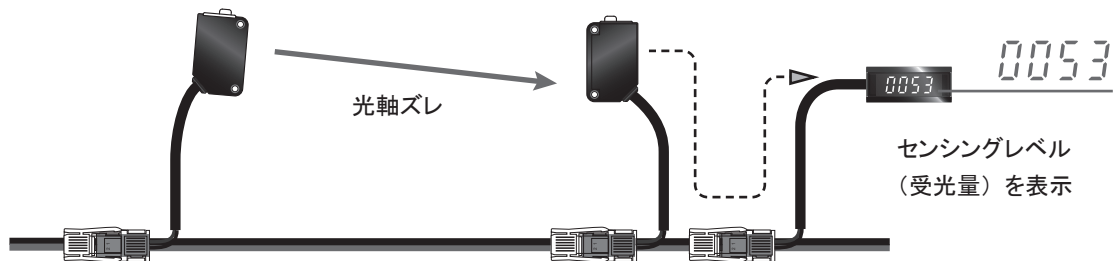
機能アップなどによって機器パラメータの変更があった場合 A→B→C・・・のように更新されます。  
機能バージョンが新しいものから古いものへ交換した場合は、1台簡単交換機能は使えません。

## 【センシングレベル表示について】

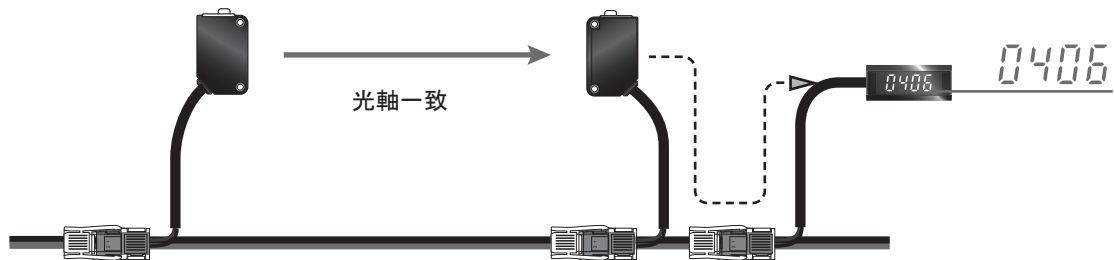
AnyWireASLINKシステムにある任意のリモートユニットを指定し、センシングレベルを表示させることができます。  
アズリンクセンサの位置合わせや、光軸調整をする際に便利です。

### ■使用例

①センサの光軸がズれていることが分かる



②光軸を調整し、センシングレベルが最大値になる位置で固定する



#### ポイント

- ・本機はアドレスを持ちませんので、AnyWireASLINKシステムのリモートユニット接続台数に含める必要はありません。
- ・複数台接続し、別々のセンサのセンシングレベルを表示することも可能です。  
※動作モードが通常モードの場合に限る(本機を調整モードにして複数台使用することはできません)

## 【機能】

機種	仕様	機能			
		ビット 伝送 <sup>※1</sup>	ワード 伝送 <sup>※2</sup>	1024点 伝送 <sup>※3</sup>	IP67
ASLINKMONITOR 2線式(非絶縁) 小型表示ユニット	任意アドレス センシングレベル表示ユニット	○	○ <sup>※4</sup>	○ <sup>※4</sup>	○ <sup>※5</sup>
		○	○ <sup>※4</sup>	○ <sup>※4</sup>	○ <sup>※5</sup>

※1 ビット伝送のAnyWireASLINKに接続して使用することが可能です。

※2 ワード伝送のAnyWireASLINKに接続して使用することが可能です。

※3 ビット点数1024点のAnyWireASLINKに接続して使用することが可能です。

※4 Lot.No.によって対応可否が異なります。

※5 B287-74DP01-220のみ対応しています。

## 【Lot.No.による機能対応】

本機はバージョンアップにより機能追加、仕様変更を行っています。対応する機能、仕様はLot.No.によって異なります。

機能	Lot.No.
ワード伝送	S/Wバージョンが“B”以降で対応 (Lot.No.が3桁表記(年月のみ)の 場合は非対応です。)
1024点伝送	
アドレス書き込み制限	



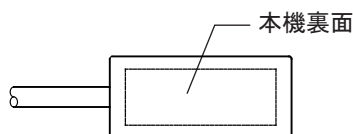
注意

S/Wバージョンが“A”、またはLot.No.が3桁表記のものを、  
ビット点数1024点のAnyWireASLINKに接続した場合、誤入力が発生します。  
ビット点数1024点のAnyWireASLINKに接続して使用する場合は、必ずLot.No.を確認してください。

### ■確認方法

Lot.No. はロットシールに記載されています。

例：



Lot.No. 19ECBNB

H/Wバージョン ————

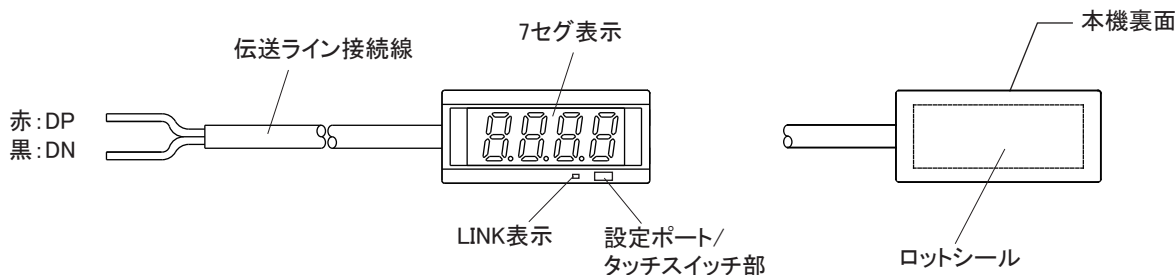
S/Wバージョン ————

機能バージョン ————

## 【設置場所】

- ・振動や衝撃が直接本体に伝わらない場所
- ・粉塵に直接晒されない場所
- ・金属屑、スパッタ等導体が直接本体にかからない場所
- ・結露しない場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、硫黄を含む雰囲気のない場所
- ・高電圧、大電流のケーブルより離れた場所
- ・サーボ、インバータ等高周波ノイズを発生するケーブルコントローラより離れた場所

## 【各部の名称】



※ 図はB287-74DP01-C20の例です

## 【各種設定】

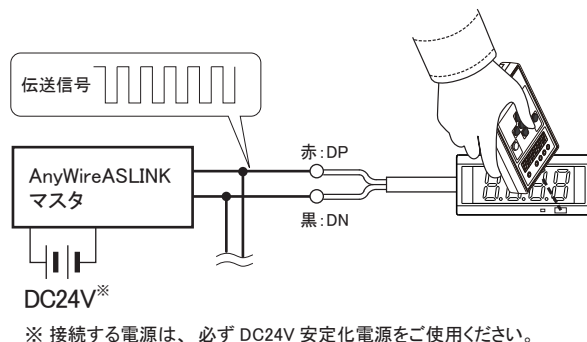
### アドレス設定

### パラメータ設定

#### ■アドレスライター操作の共通手順

必ず AnyWireASLINK マスタユニットに接続して使用してください。  
設定にはRev.(Ver.)1.01以降のARW-04(アドレスライター)または、  
Rev.(Ver.)2.10以降のARW-03が必要です。  
操作方法の詳細は、アドレスライターの製品説明書をご覧ください。

本機をAnyWireASLINKマスタユニットに接続します。  
伝送信号(DP/DN)を供給した状態で、  
アドレスライターにて設定を行ってください。



### アドレス設定

本機に対するアドレス設定は必要はありません。  
センシングレベルを表示させたいセンサのアドレス指定は、機器パラメータで設定します。



S/Wバージョン“A”以前の場合:

アドレスライターによるアドレスの書込みはできますが、本機の動作に影響はありません。センシングレベルを表示させたいセンサのアドレス指定は、機器パラメータで設定します。

S/Wバージョン“B”以降の場合:

アドレスライターによるアドレスの書込みを行った場合、アドレスライターにてエラー表示“E-0306”となります。

### パラメータ設定

#### ■モニタアドレス選択 [機器パラメータ 1]

センシングレベルを表示したいリモートユニットのアドレスを指定します。

変数	内容
0 ~ 511 <sup>※1</sup>	リモートユニットのアドレス 0 ~ 511 <sup>※1</sup>

出荷時 0

※1 S/Wバージョンが“A”、または Lot.No. が 3 桁表記の場合は 0 ~ 255 です。

<センシングレベルを表示するリモートユニットの指定>

センシングレベルを表示するリモートユニットは、モニタアドレス指定(機器パラメータ1)と、  
入出力種別選択(機器パラメータ2)の内容によって決まります。

(例)

モニタアドレス指定(機器パラメータ1) : 10

入出力種別(機器パラメータ2) : 1 の場合 → ビット入力(または入出力混合)リモートユニットのアドレス10番

## ■入出力種別選択 [機器パラメータ 2]

センシングレベルを表示したいリモートユニットの入出力種別を指定します。

変数	内容
0	ビット出力
1	ビット入力または入出力混合
2	ワード出力
3	ワード入力または入出力混合

出荷時 0

<センシングレベルを表示するリモートユニットの指定>

センシングレベルを表示するリモートユニットは、モニタアドレス指定(機器パラメータ1)と、入出力種別選択(機器パラメータ2)の内容によって決まります。

(例)

モニタアドレス指定(機器パラメータ1) :24

入出力種別(機器パラメータ2) :1 の場合 → ビット入力または入出力混合のアドレス24番

## ■モニタモード選択 [機器パラメータ 3]

モニタモードを設定します。

変数	内容
0	調整モード
1	通常モード

出荷時 1

<調整モード>

アズリンクセンサ内部で変換された0-100%のセンシングレベルではなく、AD値を直接モニタするモードです。  
調整モードでは、本機を複数台接続して使用することはできません。

※ 調整モード非対応のマスタがあります。

[調整モードが動作しないマスタユニット]

- ・QJ51AW12AL (シリアルナンバー:1605\*\*\*\* 以前)
- ・LJ51AW12AL (シリアルナンバー:1605\*\*\*\* 以前)
- ・B2G28-E1
- ・B2G78-E1

<通常モード>

アズリンクセンサ内部で変換された0-100%のセンシングレベルをモニタするモードです。  
通常モードでは、本機を複数台接続して使用することが可能です。



調整モードに設定された本機がAnyWireASLINKシステムに接続されると、マスタ側ではDP, DN断線検知、各種パラメータ通信の機能が停止します。  
調整が終わったら本機を取り外すか、必ず通常モードに変更してください。

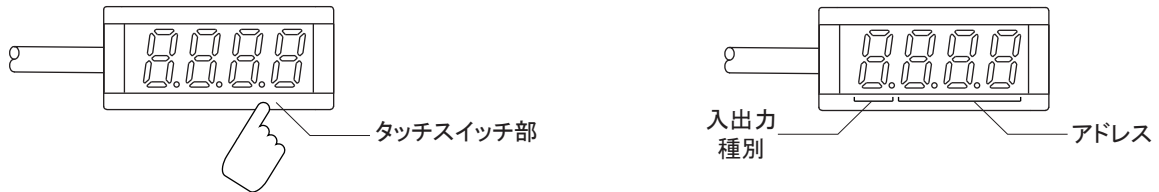
■タッチスイッチ機能設定 [機器パラメータ 4]

タッチスイッチの有効/無効を選択します。

変数	内容
0	無効
1	有効

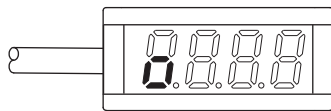
出荷時 1

タッチスイッチ部をタッチすると、センシングレベルを表示しているリモートユニットの入出力種別とアドレスを確認することができます。

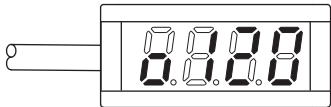


◆入出力種別

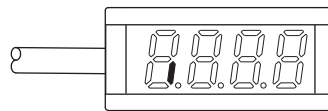
◇ビット出力



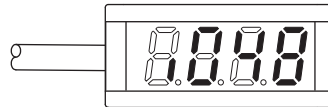
(例)ビット出力のアドレス120番



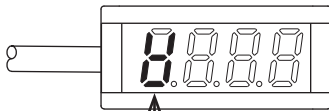
◇ビット入力または入出力混合



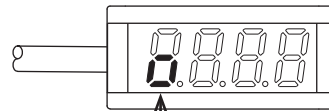
(例)ビット入力または入出力混合のアドレス48番



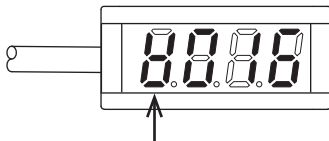
◇ワード出力



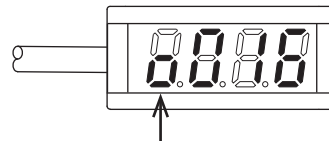
全消灯を挟んで交互に表示



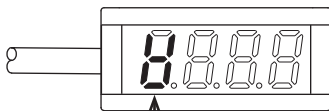
(例)ワード出力のアドレス16番



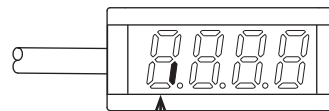
全消灯を挟んで交互に表示



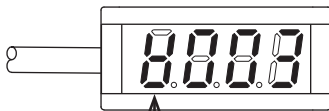
◇ワード入力または入出力混合



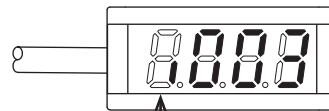
全消灯を挟んで交互に表示



(例)ワード入力または入出力混合のアドレス3番



全消灯を挟んで交互に表示





<タッチスイッチの感度調整>

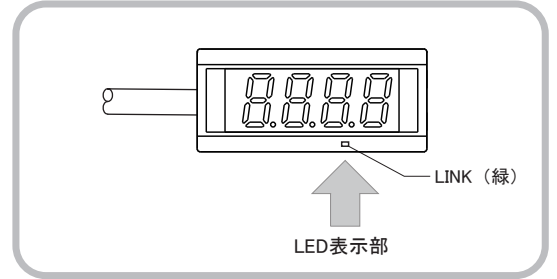
タッチスイッチが反応しない場合、アドレスライタの「SET ON」によりティーチングが可能です。

- 手順 1: アドレスライタで「SET ON」  
2: 感度調整モードに移行(8秒間)  
3: タッチスイッチをタッチしたり離したりを繰り返す  
4: ティーチング完了

※アドレスライタ操作方法の詳細は、アドレスライタの製品説明書をご確認ください。

## 【モニタ表示】

LED 名称	表示状態	内 容
LINK (緑)	点灯 	伝送信号異常
	点滅 	伝送信号受信
	消灯 	伝送信号無し (DP,DN の断線や逆接も含む)



## 【トラブルシューティング】

### <LINK が点滅しない>

確認事項	処 置
本機の接続状態を確認する。	本機を一度切り離し、再接続する。
マスタユニットの状態と併せて確認する。	1) マスタユニットの LINK が点滅し、リモートユニットの LINK が点灯の場合は、マスタユニットの故障、本機の DP-DN に直接 24V-0V が供給されている可能性があります。 2) マスタユニットの LINK が点滅し、本機の LINK が消灯の場合は、マスタユニットへ電源 (DC24V) が供給されていないか、伝送線 (DP,DN) の一部に断線があるか、または本機が破損した可能性があります。 3) マスタユニットの LINK が点滅していない場合は、マスタユニットへの電源供給を確認してください。また、その他システムエラーが発生している可能性があるため、マスタユニットのユーザーズマニュアルをご確認ください。 4) Ver.1.1 非対応品は、ワード伝送の AnyWireASKINK システムに接続して使用することができません。マスタ側の設定、本機の Lot.No. などを確認してください。

### <センシングレベルをうまく表示できない>

確認事項	処 置
モニタしたいリモートユニットを正しく指定できているか確認する。	1) モニタしたいリモートユニットのアドレス指定は、機器パラメータ 1 で設定します。本機に直接アドレス書込みを行ってもモニタできません。 2) センシングレベルを表示するリモートユニットは、機器パラメータ 1 と機器パラメータ 2 の設定で決まります。機器パラメータ 1 と機器パラメータ 2 が正しい設定となっているか確認してください。
調整モードで使用する場合、マスタが調整モードに対応しているかどうか確認する。	調整モードを使用する際は、マスタが調整モードに対応しているか確認してください。
調整モードに設定されている小型表示ユニット (本機) が、複数台接続されていないか確認する。	本機を複数台接続する場合、モニタモードは通常モードで使用する必要があります。調整モードに設定されたものが複数接続されていないか確認してください。

### <マスタが DP,DN 断線を検知できない、パラメータ通信ができない>

確認事項	処 置
本機のモニタモードを確認する。	本機を調整モードで使用中は、マスタ側で DP,DN 断線を検出できません。また、パラメータ通信についても動作を停止します。調整モードはあくまでもセンサの調整を行うときにのみ使ってください。調整が終わったら必ず通常モードに設定を変更してください。

### <マスタ側で誤入力が発生する>

確認事項	処 置
本機の Lot.No. を確認する。	本機を接続する AnyWireASLINK システムがビット伝送点数 1024 点の場合は、必ず本機の Lot.No. を確認し、S/W バージョン “B” 以降のものを使ってください。S/W バージョンが “A” または、Lot.No. が 3 桁表記のもの (1024 点非対応) を、ビット伝送点数 1024 点の AnyWireASLINK に接続すると、誤入力が発生します。

## 【機器パラメータと設定項目】

機器パラメータ	対応項目	説明	変数	内容
1	モニタアドレス選択	センシングレベルを表示したいリモートユニットのアドレスを指定します 出荷時:0000	0~511	リモートユニットのアドレス 0~511
2	入出力種別選択	センシングレベルを表示したいリモートユニットの入出力種別を指定します  出荷時:0000	0000	ビット出力
			0001	ビット入力または入出力混合
			0002	ワード出力
			0003	ワード入力または入出力混合
3	モニタモード選択	モニタモードを設定します  出荷時:0001	0000	調整モード
			0001	通常モード
4	タッチスイッチ機能設定	タッチスイッチの有効/無効を選択します  出荷時:0001	0000	無効
			0001	有効
5~19	予備			

# 【仕様】

## ■一般仕様

使用周囲温度/湿度	0～+55℃ / 10～90%RH 結露なきこと
保存周囲温度/湿度	-25～+75℃ / 10～90%RH 結露なきこと
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に準拠
耐衝撃	JIS B 3502、IEC 61131-2に準拠
雰囲気	腐食性ガスがないこと
使用標高 <sup>※1</sup>	0～2000m
汚染度 <sup>※2</sup>	2以下

※1 AnyWireASLINK 機器を標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、または保存しないでください。誤動作の原因となります。

※2 その機器が使用される環境における、導電性物質の発生度合を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しません。ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

## ■伝送仕様

使用電源電圧	DC24V +15%～-10% (DC21.6～27.6V) リップル0.5Vp-p以下
伝送方式	DC電源重畳トータルフレーム・サイクリック方式
同期方式	フレーム/ビット同期方式
伝送手順	AnyWireASLINKプロトコル
接続形態	バス形式(マルチドロップ、T分岐、ツリー方式)
接続点数 <sup>※3</sup>	ビット点数: 最大1024点(入力512ビット/出力512ビット) ワード点数: 最大1024ワード(入力512ワード/出力512ワード)
接続台数 <sup>※3</sup>	最大256台
RAS機能	伝送線断線検知、伝送線短絡検知、伝送電源低下検知、ID重複/未設定検知

※3 マスタユニットによって異なります。必ずマスタユニットのマニュアルをご確認ください。

## ■個別仕様

質量	B287-74DP01-220 : 21g B287-74DP01-C20 : 10g
保護構造	B287-74DP01-220 : IP67 B287-74DP01-C20 : なし

## ■共通仕様

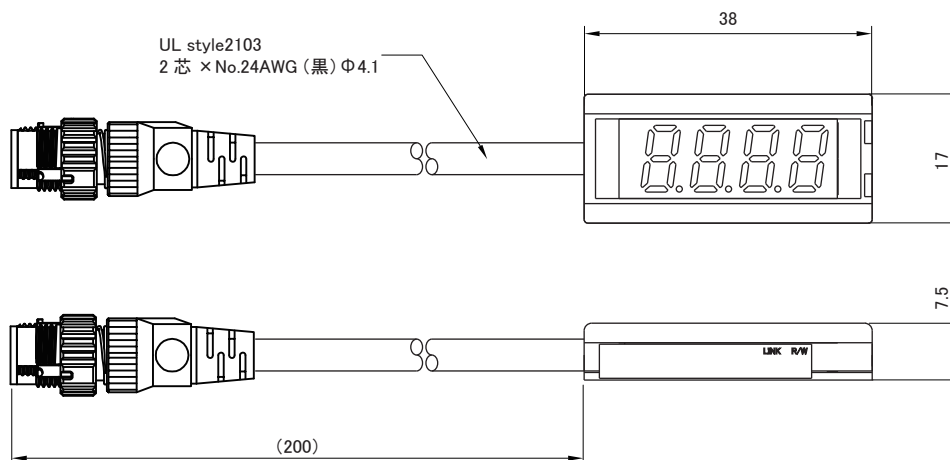
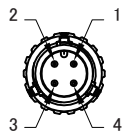
消費電流	6.0mA
------	-------

# 【外形寸法図】

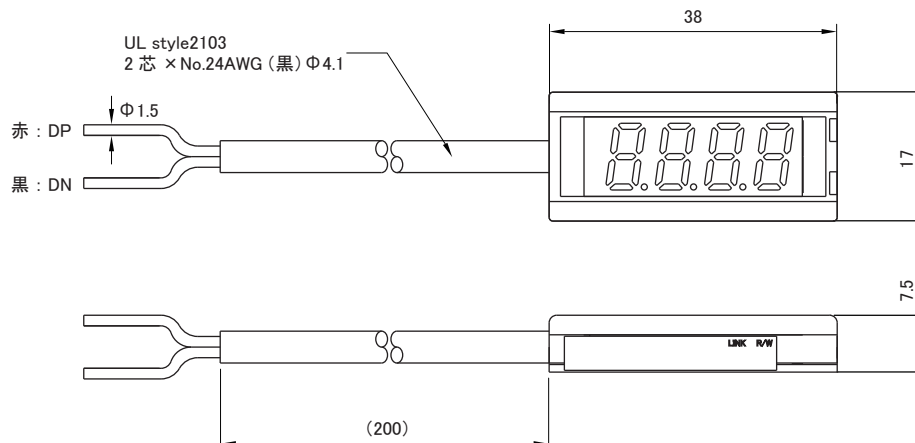
単位: mm

## ■B287-74DP01-220

1	NC
2	DP
3	NC
4	DN

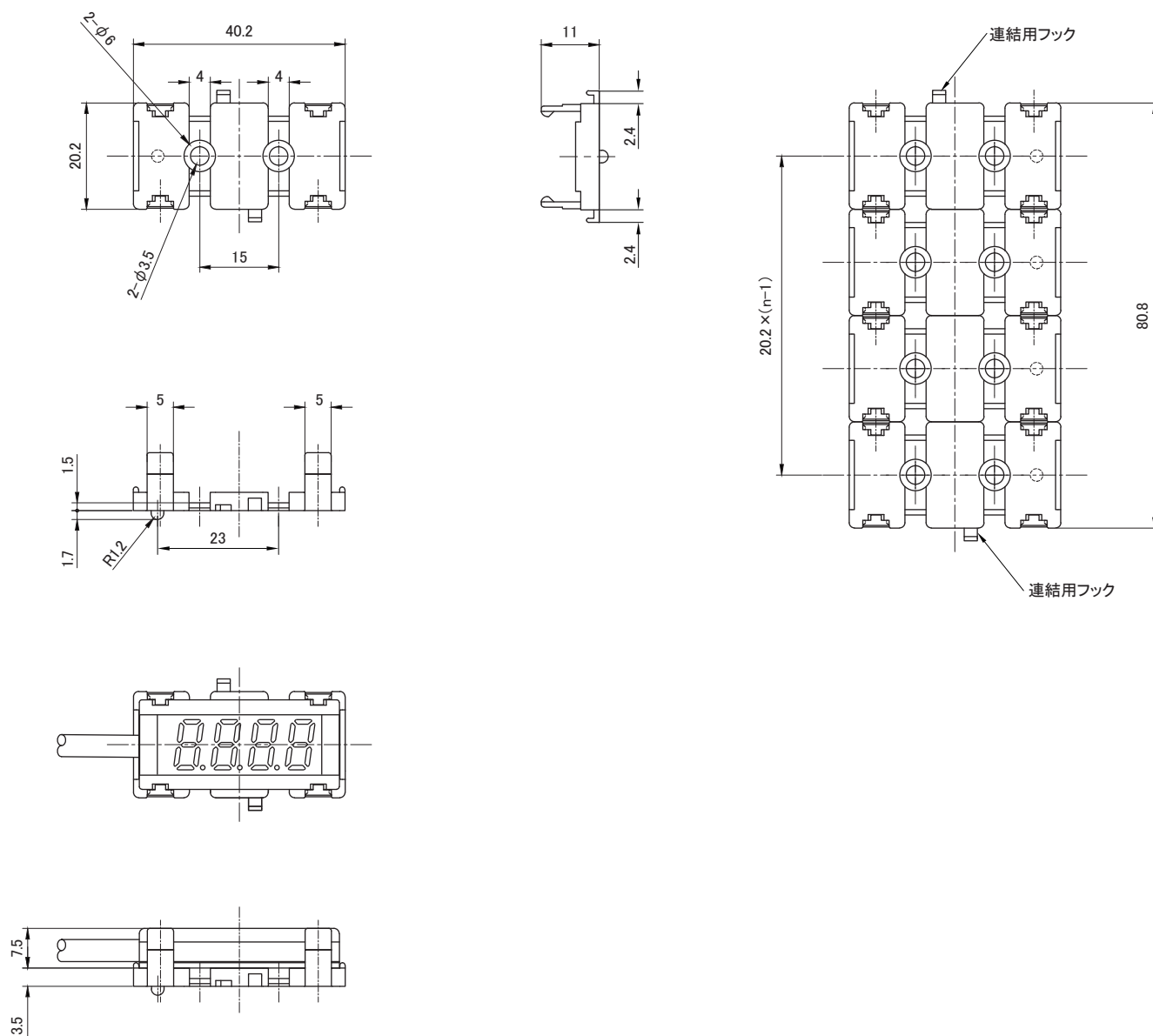


## ■B287-74DP01-C20



■ADP-87(取付専用アダプタ)※別売り

単位: mm



## 【中国版RoHS指令】

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定,按照电子信息产品污染控制标识要求制定。

本产品的环保使用期限为10年。如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品,不会发生因产品中的有害物质泄漏或突发异变而引发严重的环境污染,人身事故,或损坏财产等情况。

的产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 [Cr(VI)]	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
安装基板	×	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○


本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○ : 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。  
× : 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。



基于中国标准法的参考规格: GB/T15969.2

## 【連絡先】

 株式会社エニワイヤ

本社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1  
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所  
<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

**075-952-8077**

■ メールでのお問い合わせ [info@anywire.jp](mailto:info@anywire.jp)